



水害に見舞われた西住地区



加藤徳廣 議員

Q 今までの治水対策と今後の治水計画は

A 治水対策関係機関に呼びかけ、早急の解消に努力する



我妻弘國 議員

Q 窓口業務サービスの時間延長はできないか

A 試行的に4月から毎週水曜日7時まで実施

問 社会情勢に加え、柴田町では共働きや兼業農家が多く、さらには仙台大学の学生、自衛隊員の転入・転出も多い事から考えると月末か月初め水

に午後6時30分くらいまで窓口業務サービスの時間延長をしても良いのではないか。

を考えると、効果を考えると、あまり経費をかけないで住民サービス向上を図るべきではないか。ですが、町長はどう考えているかお伺いします。

金曜日、5日、10日（企業の集金日が多い）とか

さらには将来、土曜、祝祭日の閉庁日に大型ショッピングセンターの中の窓口業務サービス

問 18年前の8・5大水害後も、町内はたびたび水害に見舞われました。

30区を例に考えますと、冠水防止は通学路、避難所、環境衛生まで解消でき

本白石川を全地域の排水可能にと設計施行されたと考えます。堤防工法の知識は治水の有効な方策となります。

きる地域ですし、全町の治水は遅れていると考えますが、ご意見をお伺いいたします。

答 滝口町長 今までも数回、治水問題について質問を受けてきましたが、

④昨年度岩沼市から柴田町阿武隈川総合グラウンドまで堤防強化事業を行いました。

大被害被害解消には水位の実態把握が必要であり、過去の水位記録を利用すべきです。記録の利用可否をお伺いいたします。

⑤30区については、抜本的な改修を行うと認識しており、現在は大河原、柴田両町共同で取り組んで行くことで、16年度で予算を計上しています。

①河川の改修。
②排水機場の設置整備。
③槻木地区については、湛水防除事業を急ピッチ

で行ってきました。また、水害記録についても16年度の中で利用していきます。

また、水害記録についても16年度の中で利用していきます。

答 滝口町長 試行的に4月から窓口業務のサービス向上を図るため、毎週水曜日夜7時まで時間延長をします。

ただし、実施するのは町民課と槻木事務所対応できる証明書の発行と交付のみと当面はさせていただきます。

なお、祝祭日の大型ショッピングセンターでの窓口業務サービスは将来の課題といたします。



町民課窓口